

津久井やまゆり園事件  
この悲しみを力に、  
ともに生きる社会を実現します

平成30年7月26日、障害者支援施設である  
園で津久井やまゆり園において、大規模な事件が発生しました。  
このような事件が二度と繰り返されないよう、  
私たちはこの悲しみを力に、前向きな決意をもって、  
ともに生きる社会の実現をめざし、  
ここに「ともに生きる社会」のなかを模索、決定します。

ともに  
生きる

翔子

ともに生きる社会  
かながわ憲章

「私たちは、あたかも心をもつ、  
すべての人のいのちを大切にします」  
「私たちは、誰もがその人らしく、  
暮らし、このよき人間社会を築きます」  
「私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる  
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します」  
「私たちは、この憲章の実現に向けて、  
国民総ぐるみで取り組みます」

神奈川県社会福祉協議会

翔子「ともに生きる」  
ダウン症の女優作家 金澤翔子



本県の障がいや高齢者などの暮らし環境の改善にむけて、  
こちらから「ともに生きる社会」がむかいます。

この憲章は神奈川県社会福祉協議会が策定して策定したものです。  
問い合わせ 神奈川県福祉社会福祉協議会 電話 045-210-4461 FAX 045-210-5854



共にささえあい  
生きる社会  
相模原市

相模原市では、障害の有無にかかわらず、あらゆる人の尊厳が守られ、  
安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、  
障害に関する理解啓発のためのキャッチフレーズを策定しました。  
みんなで目指そう、「共にささえあい」生きる社会」

お問い合わせ 相模原市健康福祉局福祉政策課 電話 042-701-7066 ファクス 042-760-4395

津久井やまゆり園事件追悼式

平成30年7月23日  
相模女子大学グリーンホール  
(相模原市文化会館)

## 津久井やまゆり園事件追悼式 次第

日時 平成30年7月23日(月) 午後1時30分  
場所 相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)  
大ホール

開式の辞

式辞

黙禱

追悼の辞

献花

ともに生きる社会かながわ憲章 朗読

閉式の辞

追悼式中の献花は、代表献花とさせていただきます。閉式後、参列者の献花を行います。  
写真・動画の撮影はご遠慮下さい。

### <式壇について>

式壇中央には、津久井やまゆり園の利用者の方々が  
哀悼の意を込めて折紙で折った  
19色の「やまゆり」の花束と  
たくさんの白い「やまゆり」の花を添えております。



### 津久井やまゆり園の歌

作詞 長谷川 茂弘  
作曲 玉城 宜信

- 一、 緑の山にかこまれて  
根強い恵の静かなる  
千木良の里のやまゆりよ  
伸びよためらうこともなく
- 二、 白雲流れ小鳥鳴く  
小仏峠の山すその  
このやまゆりは母のごと  
永遠に心の園なりや
- 三、 愛の心にはぐくまれ  
香りがくわし清き花  
あやまゆりを友として  
希望にもえて今日も生く

### 追悼曲演奏者

Kawabata Narimichi

### 川島 成道 ヴァイオリニスト

視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・スタイタスの称号を授与され首席卒業。英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開、毎年数多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラとの共演を行う。CDは、ファースト・セカンドアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなって以来14枚をリリース。デビュー当初より音楽活動の傍ら積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語・現代文教科書などに映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。2017年、文部科学省の「スペシャルサポート大使」に就任。

<川島成道オフィシャルサイト <http://www.kawabatanarimichi.jp/>>

